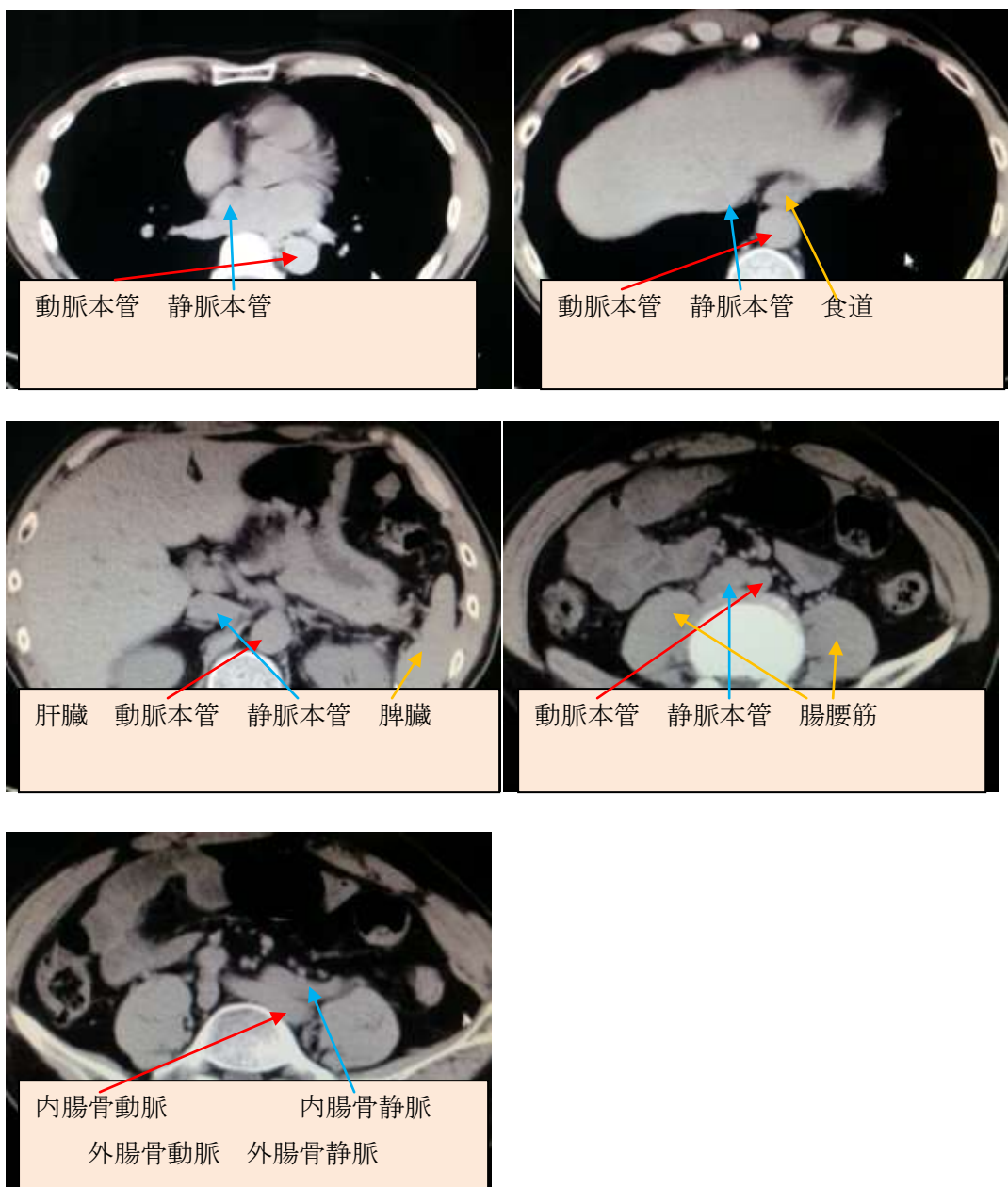


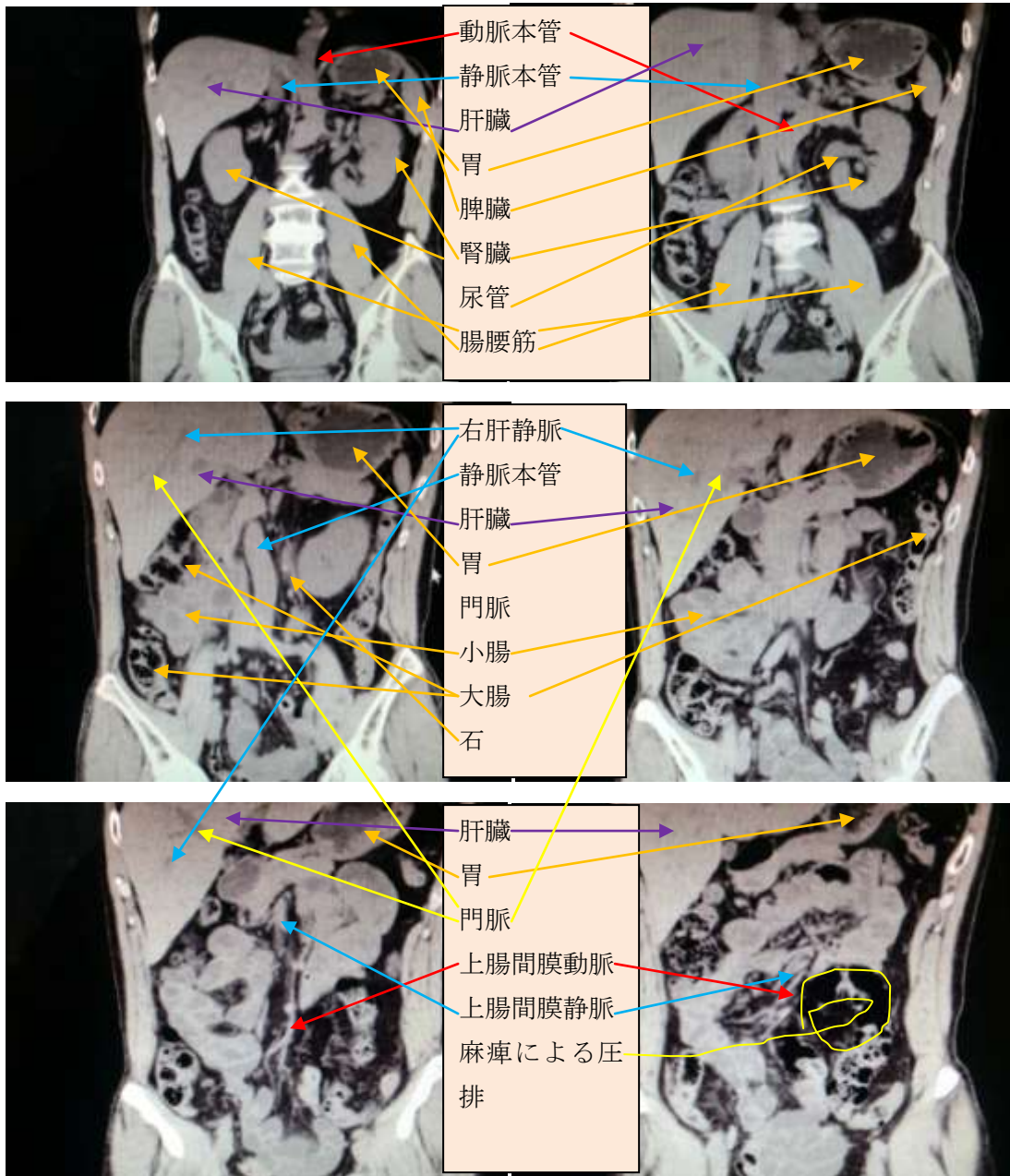
腹部血管（胆道、腸管含む）走行および位置関係について

平成 29 年 12 月 18 日 ShuzouArakaki®

- 1 腹部 4 管複合立体模型は走行位置関係を理解しやすいように作成しています。
実際の空間的位置関係は検者の便秘、脱水状態、体質（肥満、標準、やせ型）、体調および呼吸状態などで位置関係は変動します。AO および IVC は固定されており位置や走行変化は軽微です。臓器血管および胆道系は呼吸や体調による肥大圧排や萎縮により標準の位置関係は変化します。模型はアルミワイヤーで作ってありますので実際の走行に近づけることが可能、その場合若干の血管の長さや分岐位置の微調整が必要です
- 2 実際の位置関係の参考資料 AXIL



CORONAL



血管模型微調整のポイントおよび走行

動脈本管は胸部領域で脊椎左側を走行し胸椎 11 番ぐらいから脊椎前方を屈曲走行する

肝静脈は肝区域を分けますのでその境界線を走行します

左腎静脈は動脈本管と上腸間膜動脈との間を走行し、右腎動脈は静脈本管の背側を走行し

腸骨動静脈はおよそ臍の位置：腰椎 4 番当たりで分岐し動脈は中心部に静脈は外側に走行

上腸間膜動静脈は右下腹部（回盲部）に向かって走行し、分枝は左側に優位、中結腸動脈は右側に分岐し左結腸極の血流を支配します。とても重要な血管です（模型には含まれません）